

2014(平成26)年次 報告書

岡山県地域医療支援センター
岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部

目次

p.2

1. ご挨拶

p.3

2. 地域医療を支える未来の医療人の育成支援

- ・ 地域枠学生・自治医科大学学生合同セミナー in 新見の主催
- ・ 岡山マッチングプラザ2014での広報
- ・ レジナビフェア in 2014大阪での広報
- ・ レジナビフェア in 2014東京での広報
- ・ 初期臨床研修病院情報サイトの作成
- ・ 岡山大学・広島大学の行う地域医療実習への協力
- ・ 医学生・大学院生講義
- ・ 奨学資金の貸与手続等に関する説明会
- ・ オープンキャンパスへの協力

p.7

3. 地域医療機関への医師配置

- ・ 地域枠卒業医師の配置先選定条件

p.9

4. 地域枠卒業医師のキャリア形成支援

- ・ 第2回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップの開催
- ・ 地域枠支援会議の開催
- ・ 地域枠学生の希望進路ヒアリング
- ・ 医療人キャリアセンターMUSCATとの協力

p.11

5. 着任環境の整備に関する助言・支援

- ・ 地域の医療機関でのシミュレーショントレーニングの開催
- ・ 地域医療ミーティングへの参加
- ・ 地域医療機関の訪問ヒアリング調査

p.13

6. 連携協力・情報発信

- ・ 地域医療支援センター運営委員会
- ・ 岡山大学医学部創立150周年人材育成事業記念講演シリーズ「次代につなげるメッセージ」への協力
- ・ 神奈川県医師会との意見交換
- ・ 愛知県との意見交換
- ・ 広島県との意見交換
- ・ 鳥取県との意見交換
- ・ 地域医療フォーラム2014への事前協力
- ・ しまね地域医療支援センターとの意見交換

1. ご挨拶

岡山県地域医療支援センターが2012（平成24）年2月に設立されて、今年2014（平成26）年の報告書で3年が経ちました。毎週県庁の保健福祉部医療推進課にある岡山県地域医療支援センターで喧々諤々と話し合いながら仕事が出来ました。大要はこの報告書に記載されていますが、目玉は7月27日に行った第2回地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップで、「地域医療を担う医師が勤務する医療機関の条件について」をテーマに検討行ったことです。岡山の主要なメンバーに参加していただき、我々事務局が提案した方法について議論していただきました。プレアンケートで参加者の皆様が自分で思っておられる派遣すべき病院と、我々が提案する方法で客観的に抽出した病院がかなり一致していました。「派遣先病院の決め方」の特別講演をしていただいた梶井先生にも一応の評価をいただけたと思っています。来年にはより良くなるよう更新する予定です。

今年も5回に亘って県内の12病院を訪問し、相互の理解と地域卒業医師の受入の準備のための地ならしをしました。多くの病院が学生の実習、あるいは初期研修医の受入をされておられます。大部分の方が、NPO岡山医師研修支援機構の地域医療部会に参加している顔見知りの方で、話しがスムーズに出来ました。今年から訪問には看護協会と社会労務士会の方も同行し、質の高い情報交換が出来ました。2015（平成27）年3月には岡山大学の地域枠学生も4人が卒業して、県内の病院で初期研修の新たなスタートを切ります。2016（平成28）年の後半には、派遣先病院が提示できるように準備して参ります。

岡山県の医師数の地域毎の分布、市町村の将来の医療需要や介護需要の予測、医師の年齢分布、診療所の分布などについてまとめてきました。その多くはWixを使用したホームページに公開しております。これらの事を開設以来担当していた非常勤事務員の宇野みか様が2014（平成26）年末で退職されました。我々の仕事が少人数で思い通りに出来たのには彼女の存在が非常に大きかったと感謝しております。

岡山県地域医療支援センターは、1. 地域のための医療活動を支援する。2. 地域医療を支える未来の医療人の育成、支援をする。という2つのミッションの下、引き続き頑張りますので、関係の皆様のご指導、ご支援をお願い致します。

岡山県保健福祉部 : 伯野春彦、則安俊昭、豊田和典、村上健太郎
岡山県地域医療支援センター : 岸本真治、宇野みか
岡山県地域医療支援センターURL:
<http://chiikiiryouokayama.wix.com/centerokayama>



岡山県地域医療支援センター
センター長 糸島達也

岡山県地域医療支援センター岡山大学支部は2012（平成24）年4月に設立されました。地域で働く医師のキャリア形成支援や意欲を持って着任できる環境整備などの活動を行っています。2014（平成26）年は、地域枠医師の勤務する施設の条件について議論するワークショップを開催したり、6年生との面談を行ったり、より具体的なキャリア支援を行うことができました。また、少ない人員の中、10月14日から11月7日まで育児休業を取得させていただきました。今後も、地域枠医師の支援、学生同士の交流、地域医療機関の教育指導体制の強化など様々な支援を行っていきたいと考えています。関係者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

岡山県地域医療支援センター岡山大学支部
助教 岩瀬敏秀

2. 地域医療を支える未来の医療人の育成支援

地域枠学生・自治医科大学生合同セミナー in 新見の主催

2014（平成26）年 8月16日～17日 in 新見



▲新見市 市長 石垣 正夫 氏



▲渡辺病院 医師 藤井 修一 氏



▲成羽病院 医師 松田 祐依 氏

昨年に引き続き、岡山大学・広島大学の地域枠学生、自治医科大学生が集まる合同セミナーを岡山大学大学院地域医療人材育成講座の共催のもと新見市で開催しました。学生44名、スタッフ・ゲスト14名が参加しました。

今回は、地域医療提供体制の現場としてきらめき広場・哲西を訪問し、哲西町診療所の設立の経緯を伺うとともに、広場全体の案内をしていただきました。また、生活改善グループの皆様にご協力いただき、調理実習を交えた食育体験学習を行いました。しっかり学んだ後に宿舎に移動し、食事をとり、交流を深めました。

2日目は宿舎で、佐藤先生（地域医療人材育成講座）から地域でよく出会う症例を基に、地域に必要な医療について考えるワークショップを行いました。活発に意見が交換され、各グループから素晴らしい発表がなされました。その後、石垣市長（新見市）から新見市における医療の状況について、藤井先生（渡辺病院）からへき地医療拠点病院での勤務について、松田先生（成羽病院）から若手医師の義務年限勤務について、それぞれご講話いただきました。

昼食後に集合写真を撮り、帰路につきました。

概要	日程	2014（平成26）年 8月16日～17日
	場所	きらめき広場・哲西（診療所見学・食育体験学習） 新見千屋温泉地内「いぶきの里」（合宿・ワークショップ）
	参加者	<学 生>岡山大学医学科地域枠、広島大学医学科ふるさと枠、自治医科大学（岡山県出身） <教員他>地域医療支援センター、岡山大学地域医療人材育成講座、岡山県保健福祉部医療推進課 他
	講 師	新見市 市長 石垣 正夫 氏 渡辺病院 医師 藤井 修一 氏 成羽病院 医師 松田 祐依 氏

■8月16日（土）

10時～ 岡山駅西口バスターミナルを出発
11時半～ 昼食
13時～ 哲西町診療所の見学
14時～ 食育体験学習、ミニ講話と調理実習
15時半～ 移動
17時頃 チェックイン
18時～ 夕食・意見交換
24時～ 就寝

■8月17日（日）

8時～ 朝食
9時～ 佐藤先生ワークショップ
「地域でよく出会う症例について」
10時45分頃～
[1] 石垣市長（新見市）講話
「新見地域の医療の状況について」
[2] 藤井先生（渡辺病院）講話
「へき地医療拠点病院での勤務について」
[3] 松田先生（成羽病院）講話
「若手医師の義務年限勤務について」
12時～ 昼食後、移動
15時頃 岡山駅到着、解散

岡山大学・広島大学の行う地域医療実習への協力

2014（平成26）年 1月、3月、4月、5月、7月、8月、9月、11月



岡山大学医学科の実習において、岡山大学支部は一部の学生の実習期間中の日報に対するコメントを担当しました。広島大学医学科の実習において、実習協力施設との調整を行いました。

【岡山大学医学科1年生＊早期地域医療体験実習】

日程 2014（平成26）年9月8日～9月12日、
9月22日～26日
内容 岡山大学地域枠学生12名、一般枠学生8名を
対象に、22実習協力施設で、1～2週間（31人
週）の実習が行われました。

【岡山大学医学科3年生＊地域医療体験実習】

日程 2014（平成26）年3月17日～3月20日
内容 岡山大学地域枠学生4名、一般枠学生38名を
対象に、25実習協力施設で、1週間の実習が
行われました。

日程 2014（平成26）年7月28日～8月1日
内容 岡山大学地域枠学生3名、一般枠学生38名を
対象に、24実習協力施設で、1週間の実習が
行われました。

【岡山大学医学科4年生＊地域医療体験実習】

日程 2014（平成26）年1月20日～1月24日
内容 岡山大学地域枠学生6名、一般枠学生36名を
対象に、24実習協力施設で、1週間の実習が
行われました。

日程 2014（平成26）年3月10日～3月14日
内容 岡山大学地域枠学生6名、一般枠学生33名を
対象に、24実習協力施設で、1週間の実習が
行われました。

日程 2014（平成26）年5月26日～5月30日
内容 岡山大学地域枠学生5名、一般枠学生38名を
対象に、24実習協力施設で、1週間の実習が
行われました。

日程 2014（平成26）年11月10日～11月14日
内容 岡山大学地域枠学生4名、一般枠学生35名を
対象に、22実習協力施設で、1週間の実習が
行われました。

【岡山大学医学科3～5年生＊離島実習】

日程 2014（平成26）年8月18日～8月26日
内容 岡山大学地域枠学生1名、一般枠学生6名を対
象に、隠岐島前病院、下甕手打診療所、三
島・十島巡回診療（鹿児島赤十字病院）で、1
週間の実習が行われました。

【岡山大学医学科6年生＊選択制臨床実習】

日程 2014（平成26）年4月7日～7月18日
内容 岡山大学地域枠学生4名、一般枠学生3名を
対象に、4実習協力施設で、2週間の実習が行
われました。

【広島大学医学科2～3年生＊春休み実習】

日程 2014（平成26）年3月10日～3月14日
内容 広島大学医学科ふるさと枠（岡山県）学生2名
を対象に、1実習協力施設で、1週間の実習が
行われました。

実習協力施設一覧

哲西町診療所、渡辺病院、新見中央病院、長谷
川記念病院、高梁中央病院、成羽病院、川上診
療所、湯原温泉病院、金田病院、大原病院、奈
義ファミリークリニック、津山ファミリークリニ
ック、湯郷ファミリークリニック、中島病院、吉永
病院、備前病院、西大寺病院、ももたろう往診
クリニック、藤井クリニック、つばさクリニック、
水島中央病院、水島第一病院、金光病院、矢掛
病院、井原市民病院、笠岡市民病院、土庄中央
病院、因島病院、寺岡記念病院、雄鹿原診療
所、赤穂中央病院、朝来梁瀬医療センター、日
南病院

医学生・大学院生講義

2014（平成26）年 5月、7月、8月、9月、12月

【実習に行く前に】

日程 2014（平成26）年5月1日、7月9日、
8月5日、9月29日、12月9日

内容 地域医療体験実習へ参加する学生に対して講義を行い、望ましい学習姿勢や守秘義務について解説しました。

【地域医療の課題】

日程 2014（平成26）年5月22日、
7月1日、9月9日

内容 岡山大学大学院講義および医学部講義において、地域医療に関係した課題について解説しました。

【スタンダードプリコーションズ】

日程 2014（平成26）年12月9日

内容 地域医療体験実習へ参加する学生に対して講義を行い、感染防御について解説しました。

奨学資金の貸与手続等に関する説明会

2014（平成26）年 3月19日

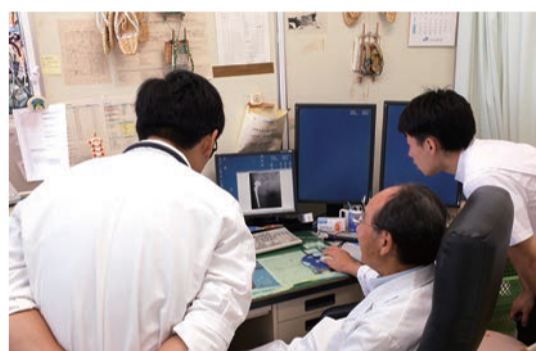
岡山大学に入学する地域枠学生および広島大学に入学するふるさと枠（岡山県）学生に対して、医学生としての心構えなどについてざっくばらんに説明しました。

オープンキャンパスへの協力

2014（平成26）年 8月8日

岡山大学医学科のオープンキャンパスに協力しました。午前の部・午後の部と合わせて約1200名が参加しました。地域枠相談コーナーを設け、地域枠学生・県庁職員と共に高校生・保護者からの質問に対応しました。

▲ポートフォリオでの振り返り・フィードバックの様子



容易になった情報発信

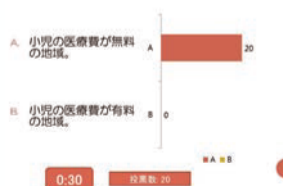
FacebookやLineなどのSNS、ツイッター、ブログ、ニコ生やUstreamなど、誰でも情報発信が出来る時代です。

授業や実習で知った情報の取り扱いには十分に気を付けてください。

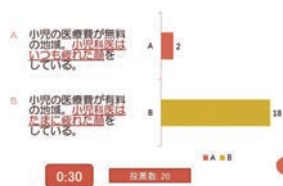
医師法 第4条 次の各号のいずれかに該当する者には、免許を与えないことがある。
3. 罰金以上の刑に処せられた者

刑法第134条 空想危険が規定されている。
(6ヶ月以下の懲役または10万円以下の罰金)

どちらの地域に住みたいですか？



どちらの地域に住みたいですか？



何から？

患者の病原体から
- 血液や体液や排泄物をすべて感染源とみなして

医療従事者の病原体から

誰をまもる？

医療従事者を

- 医療行為のために自分を危険にさらさない

患者を

- 医療行為のために患者に不利益を加えない



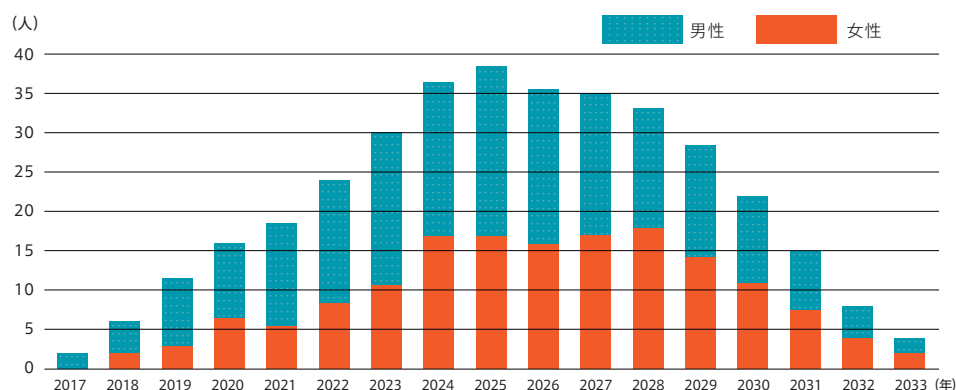
3. 地域医療機関への医師配置

地域卒業医師の配置先選定条件

2014(平成26)年 4月アンケート実施 / 対象:岡山県内全病院

地域卒業医師を配置するにあたって、できるだけ多くの関係者が納得できるよう選定する必要があります。そのため、2014(平成26)年4月に県内の全病院を対象としたアンケートにおいて地域卒業医師の配置を希望する・検討中と答えた74病院の回答を元に、こういった条件を備えた施設が望ましいかについて、地域医療人材育成講座と協同で検討しました。

地域配置される地域卒業医師の予想人数



2025(平成37)年には約40名の地域卒業医師が地域に配置されることが予想されています。

※2015年度以降の入学生の半数が女性と仮定しています。

※半数が3年目と6年目に、半数が4年目と7年目に後期研修を取得すると仮定しています。

教育指導体制

初期臨床研修病院は実際の候補病院となりにくいにもかかわらず、最も高い評価となっている点については、再検討の必要性があります。また、良好な指導体制のために基幹病院からの指導医派遣といった支援が必要と思われますが、現実的には厳しい状況です。

認定施設かどうか

地域の病院では指導医の確保が難しい状況があります。認定施設かどうかより、基幹病院のカンファレンスへの参加等の学習機会の確保を評価することへの検討も有用と考えています。

救急車の受入件数

常勤換算医師一人当たりの救急車受入件数、受け入れた時間帯等の項目についての検討も必要です。

地域で果たしている役割

数値化は難しいかもしれませんが、地域に期待される役割を果たすために医療、保健、福祉の多職種連携が必要です。

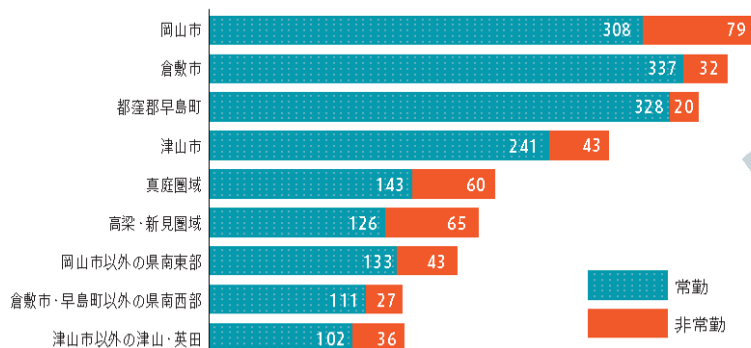
地域の受け入れ体制

地域住民との意思疎通が良好な地域は派遣に適していると考えています。住民、行政、消防、医師会、医療機関等の良好な連携体制が必要です。2~3年でローテーションする医師を歓迎する雰囲気が求められるでしょう。

待遇

手当にある程度の差が認められることはしかたがないですが、不必要な競争を防ぐためにも一定の範囲をセンターが提示することも検討が必要と思われます。一定期間を要する研修を認めるなどの対応を高く評価することが望ましいです。

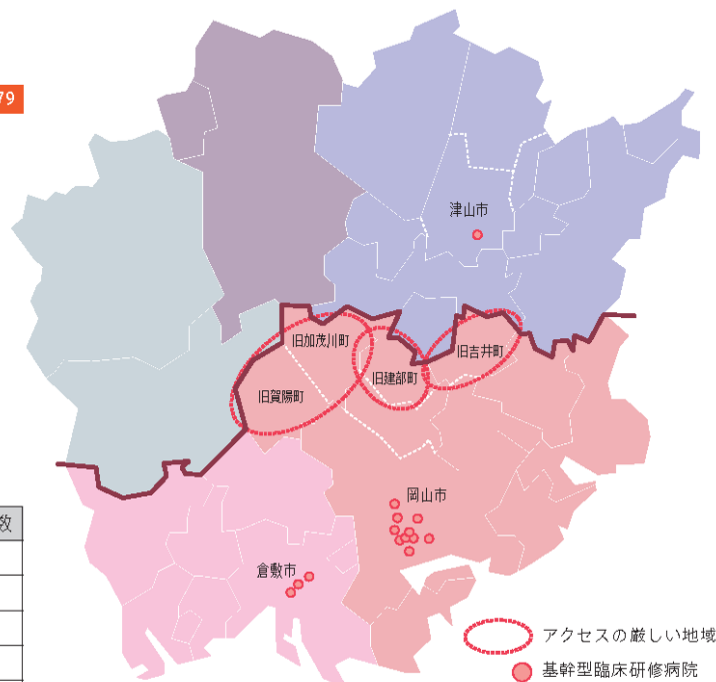
地域の医師数



▲地域ごとの医師数(人口10万人対)(2011.10.1)

重み	評 価	病院数
1	旧建部町を除く岡山市、倉敷市、総社市、早島町	35
2	医師が少ないとは言えない県北(津山市)	6
3	医師が少ない県南、アクセスの厳しい旧建部町	16
4	医師の少ない県北、アクセスの厳しい県南(古備中央町、旧吉井町)	17
合計		74

▲地域の医師不足に係る分布状況



▲県内の基幹型臨床研修病院位置図とアクセスの厳しい地域

病院同士の競争が続く限り医師不足は解消されないため、地域での連携と機能分化が不可欠です。地域の医師の平均年齢、病院へのアクセス、診療科の偏り等についても検討が必要と考えています。

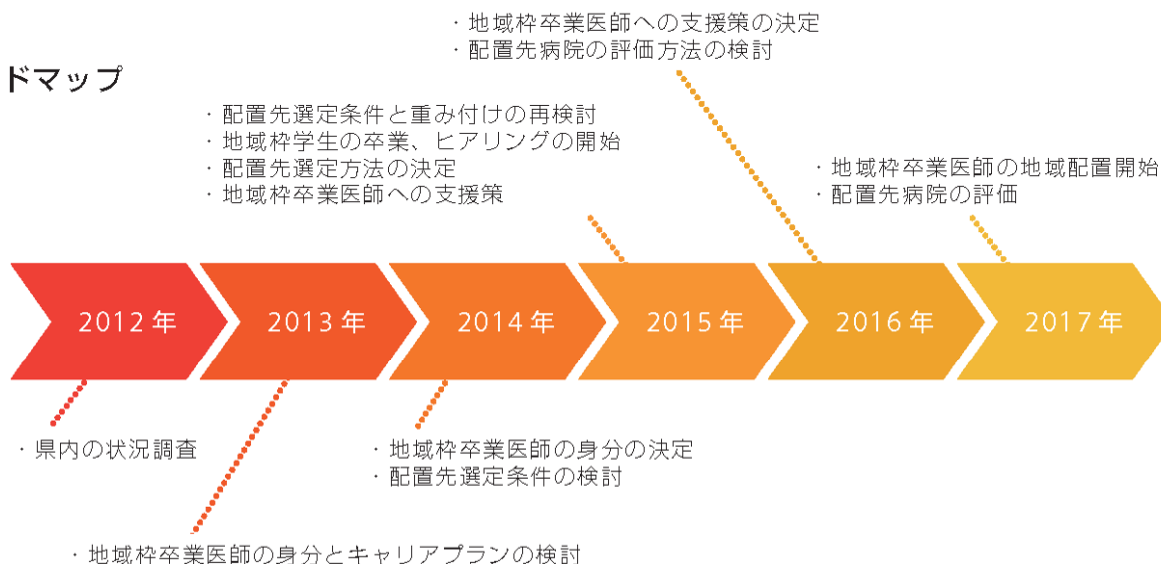
経営状況

経営状況を比較する際には一定の会計基準を設けることが必要です。

その他

派遣の継続性、地域医療ビジョンとの整合性、地域の医師の必要数、他薦を評価する仕組みなどについて今後検討を深める必要があります。

ロードマップ



4. 地域枠卒業医師のキャリア形成支援

第2回地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップの開催

2014(平成26)年 7月27日



▲梶井先生の講演



▲ワークショップの様子



▲則安課長の質疑の様子

岡山県が養成している地域枠学生の卒後の処遇やキャリアプランはどうあるべきかについて検討する「地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」の第2回を開催しました。県内病院の院長、研修担当指導医、大学病院教授、行政医師、地域枠学生ら計55名が参加しました。

当センターから、地域枠卒業医師の配置先の選定方法についてセンター案を説明しました。その後、自治医科大学地域医療学センターの梶井英治センター長から、地域枠卒業医師の派遣先を決める際に重要な観点について基調講演をいただきました。

それらを踏まえ、「受け入れ側から見た地域枠卒業医師の派遣システム」についてグループワークを行い、グループごとに発表を行いました。発表後の質疑応答では、センター案を概ねよいとする評価と共に、改善すべき点について議論がなされました。また、「病院」ではなく、「地域」に派遣する視点や、リーダーシップ教育の重要性などが提案されました。

地域枠支援会議の開催

月1回 定期開催

昨年開催した、岡山県の地域枠制度をより良いものとするための「地域枠卒業医師のキャリア検討委員会」を発展改組させ、岡山大学、岡山県、地域医療支援センターの関係者が一堂に会する「地域枠支援会議」を設置しました。なお、この会議は、月1回定期的に開催することとし、地域枠制度の検討やそれぞれの取組状況等について協議を行いました。

- 第1回 2014(平成26)年 8月19日
- 第2回 2014(平成26)年 9月1日
- 第3回 2014(平成26)年 10月27日
- 第4回 2014(平成26)年 11月18日
- 第5回 2014(平成26)年 12月15日



地域枠学生の希望進路ヒアリング

2014（平成26）年 1月～

卒業が間近に迫った岡山大学の6年生に対して個別面談を行い、現時点で想定する9年間のキャリアプラン、将来希望する診療科等についてのヒアリングを行いました。



医療人キャリアセンターMUSCATとの協力

2014（平成26）年 4月11日、6月27日、12月6日

医療人キャリアセンターMUSCATの企画を共催しました。

第3回 ケアを考えるセミナー

「地域をたがやす～地域包括ケアにおける市民の力を育むには～」

日程 2014（平成26）年 4月11日



▲第3回 秋山先生



第5回 岡山MUSCATフォーラム

「よりそうあなたへ」

日程 2014（平成26）年 12月6日



▲第5回 中村先生



▲秋山先生



第4回 ケアを考えるセミナー

「チームで行う退院支援～どう生きたいかに寄り添う～」

日程 2014（平成26）年 6月27日



▲第4回 宇都宮先生



5.

着任環境の整備に関する助言・支援

地域の医療機関でのシミュレーショントレーニングの開催

2014（平成26）年 2月、9月、11月



▲救命トレーニング体験コーナーの様子



岡山大学医療教育統合開発センター、地域医療人材育成講座、医療人キャリアセンターMUSCAT、NPO法人岡山医師研修支援機構と共催で、MUSCAT Simディレクターの万代先生によるシミュレーション講習会（9月28日は救命措置トレーニング体験コーナー）を地域に出かけて開催しました。こうした取組によって地域の医療機関の教育力が強化されることを期待しています。

シミュレーショントレーニング in 井原

日程 2014(平成26)年 2月25日

場所 井原市・井原市民病院

医療・看護就職フェア in 新見

日程 2014(平成26)年 9月28日

場所 新見市・まなび広場にいみ

シミュレーショントレーニング in 美作

日程 2014(平成26)年 11月10日

場所 美作市・美作市大原病院

開催日程

地域医療ミーティングへの参加

2014（平成26）年 10月、11月



奈義町及び新見市の地域医療ミーティングに参加しました。

奈義町では在宅での死、看取りをテーマとして検討を行っており、その中で「本人の意思を反映させるためには日頃からの話し合いが重要である」「高齢者から率先してどうして欲しいのかについての話を行う必要がある」といった議論が出されていました。

新見市では若い世代に医療職に興味を持ってもらえるようなイベントや医療者の苦勞を市民に理解していただく取り組み等の必要性について協議しました。

第2回 奈義町地域医療ミーティング推進協議会

日程 2014（平成26）年 10月30日

場所 奈義町

第10回 新見市地域医療ミーティング推進協議会

日程 2014（平成26）年 11月20日

場所 新見市

開催日程

地域医療機関の訪問ヒアリング調査

2014（平成26）年 2月、4月、6月、11月、12月

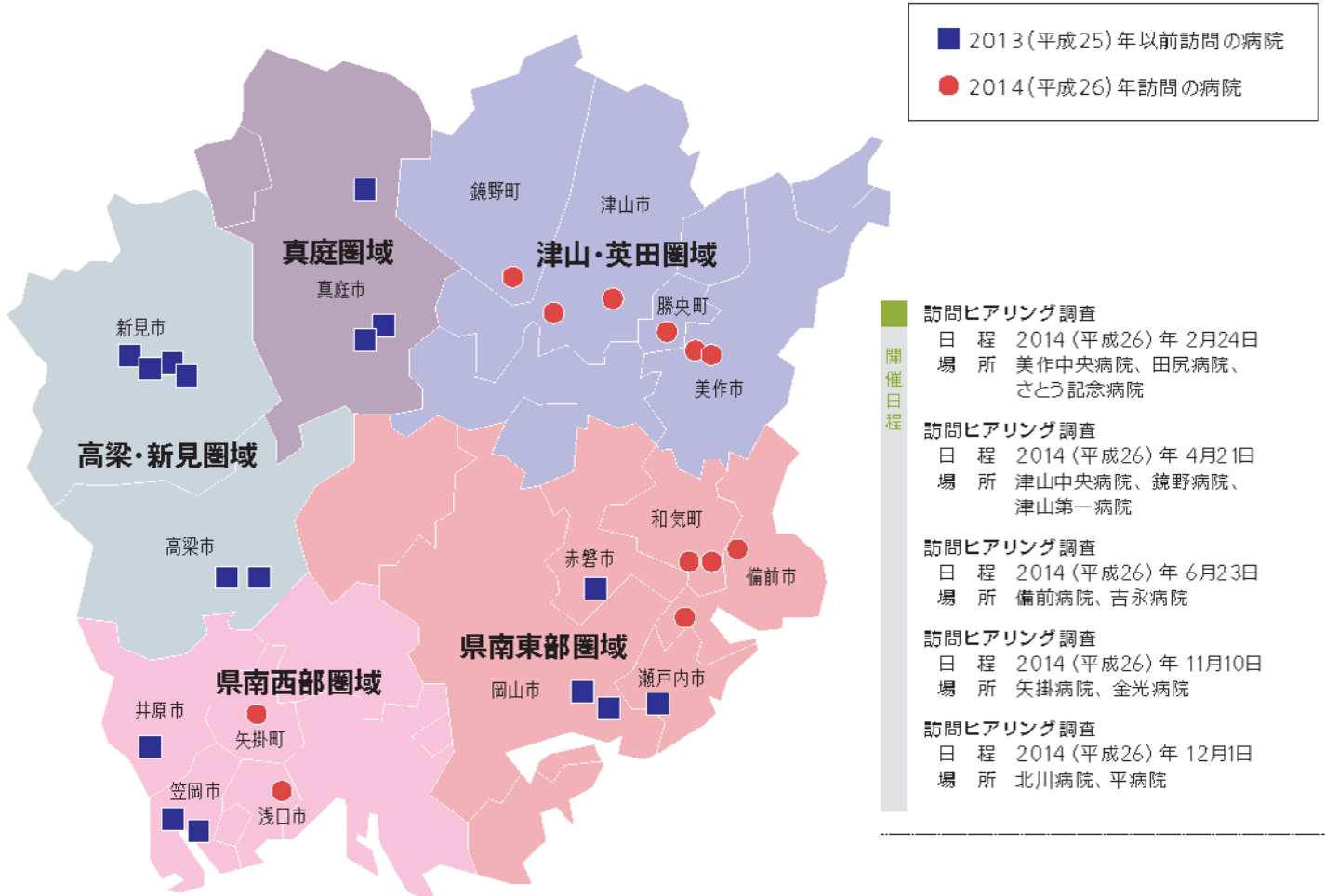


▲吉永病院の荻野院長にお話を伺う糸島センター長、伊野教授

地域の医療や救急の状況、病院の取組等を把握するため、県内の12の医療機関を訪問し、地域の実情、医療機関の取組等について訪問ヒアリング調査を実施しました。地域のクリニックとの積極的な連携や地域住民にわかりやすい診療表の作成などの地域の実情に合わせた病院の取組の状況を知ることができました。

また、併せて、センターへの要望を伺ったところ、「ヒアリング調査は是非継続していただきたい」「地域の2次救急を維持するためにも、手術ができる外科医の充足に向けた協力をしていただきたい」といった声が聞かれました。

これらの要望に対応できるよう、今後とも取組を進めていく方針です。



6. 連携協力・情報発信

地域医療支援センター運営委員会

2014（平成26）年 2月15日、5月20日、10月21日

地域の医療関係者との合意のもと、効果的に当センターの運営を行うため2014（平成26）年に3回、地域医療支援センター運営委員会を開催しました。

会議では、当センター本部及び岡山大学支部のそれぞれの取組について報告を行うとともに、その報告内容を踏まえて委員と事務局で活発な意見交換を行いました。



岡山大学医学部創立150周年人材育成事業記念講演シリーズ「次代につなげるメッセージ」への協力

2014（平成26）年 2月22～23日

地域医療人材育成講座の企画を共催しました。



▲立花氏



▲菅野先生



神奈川県医師会との意見交換

2014（平成26）年 4月16～17日

神奈川県医師会の澤井副会長、増沢理事、事務局の依田地域保健課長をお迎えし、地域医療支援センターの設置や運用について意見交換を行いました。



▲地域医療人材育成センターおがやまでのシミュレーション体験の様子



▲県庁での意見交換の様子

愛知県との意見交換

2014（平成26）年 4月30日

愛知県医務国保課の吉田課長、近田主幹、川口課長補佐、大久保主任をお迎えし、互いの県の地域医療支援センターのあり方について意見交換を行いました。



広島県との意見交換

2014（平成26）年 7月1日

広島県医療政策課の坂上課長、古木主幹、藤井専門員、広島県地域医療支援センターの橋本部長、古川医監をお迎えし、岡山大学の広島県枠学生の卒後キャリアパスについて当該学生を交えて協議しました。

鳥取県との意見交換

2014（平成26）年 7月15日

鳥取県福祉保健部健康医療局の藤井局長、医療人材確保室の山崎室長をお迎えし、岡山大学の鳥取県枠学生を交え、意見交換を行いました。

地域医療フォーラム2014への事前協力

2014（平成26）年 8月5日

自治医科大学の小松先生、牧野先生、京都市立病院の内藤院長をお迎えし、岡山県の地域医療の取り組み状況について意見交換を行いました




しまね地域医療支援センターとの意見交換

2014（平成26）年 10月16～17日



しまね地域医療支援センターを当センターから4名（糸島センター長、岡山大学医療教育統合開発センター伊野教授、事務局2名）で訪問し、それぞれのセンター運営状況、課題等について共有するとともに、活発な意見交換を行いました。

今後ともお互いに意見交換・情報共有を行うことで、センターの円滑な運営に努めていくこととなりました。



2014(平成26)年次 報告書

岡山県地域医療支援センター

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 岡山県保健福祉部医療推進課内

TEL:086-226-7381 FAX:086-224-2313

E-mail:chiikiiryuokayama@gmail.com

HP:<http://chiikiiryuokayama.wix.com/centerokayama>

Facebook:<https://www.facebook.com/chiikiiryu33>

岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 MUSCAT CUBE 2階

TEL:086-235-6833 FAX:086-235-6834

E-mail:toshihide_iwase@cc.okayama-u.ac.jp

HP:<http://www.chiikiiryu33.jp/index.php>

発行:2015(平成27)年2月